

# 埼玉県生協連 2 月度まとめと今後の課題

2020 年 3 月 5 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

## 1. 全体状況

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大への対応

2 月 24 日の専門家会議の見解および 25 日の国の基本方針を受けて、県生協連、事務局を担っている埼玉消団連および適格消費者団体も含めて 2 月下旬から 3 月までの学習会等の催事を原則中止し、機関会議のみ開催することとしました。

### (2) 2019 年度第 4 回活動委員会

2 月 14 日(金)、第 4 回活動委員会を開催し、各生協の 2020 年度活動方針、2020 年度の活動委員会の持ち方などのテーマについて話し合いを行いました。活動方針の交流では 2020 年度の重点を出し合い、出された付箋をホワイトボードに貼り付け、ワークを行いました。なお、2020 年度の活動委員会の会場を会員生協持ち回りで行うことを確認しました。※別紙 1

### (3) 2019 年度第 4 回常務理事会

2 月 27 日(木)、第 4 回常務理事会を開催しました。埼玉県生協連基準改定の件についての議決を行った他、第 5 回理事会議案の先議、新型コロナウイルスに関する状況共有などを行いました。

### (4) 2019 年度第 2 回大学部会

2 月 17 日(月)、第 2 回大学部会を開催しました。各大学生協の 2020 年度の事業計画と活動計画についての報告を行った後、若年層を対象とした消費者被害防止の取り組みやプラスチック問題を中心とする環境の取り組み、平和の取り組みについて意見交換を行いました。※別紙 2

### (5) 第 25 回 JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の早春交流会

2 月 12 日(水)、こくみん共済 coop 埼玉推進本部にて、JA 女性組織協議会・埼玉県生協連から各 23 人計 46 人の参加で開催しました。NPO 法人男女共同参画おた理事長坂田静香さんに「地域力を高めて安心・安全な避難所運営 ～高齢者・障がい者・子ども・女性など多様な視点に配慮する～」と題して講演いただき、交流しました。※別紙 3

### (6) 2019 年度第 2 回埼玉県との定期協議

2 月 20 日(木)、第 2 回埼玉県との懇談会を開催しました。埼玉県より 7 月に提出した「2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」への回答、2019 年度に実施した生協指導検査の中間結果について報告がありました。その後の懇談では、消費者被害をはじめ地域での見守りの進め方、若年層の消費者被害を防止するための消費者教育の進め方などについて意見交換を行いました。※別紙 4

### (7) パルシステム生活協同組合連合会 熊谷センター開所式

2 月 6 日(木)にパルシステム連合会の物流センター(冷蔵)とパルシステム埼玉の熊谷センター(配送)の開所式が開催され、埼玉県飯島副知事、熊谷市富岡市長、日本生協連本田会長はじめ、関係者が参加しました。県内生協からはコープデリ連合会土屋理事長、県生協連吉川会長理事が参加しました。

## 2. 分野の取り組み状況

### (1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 消費者被害防止サポーター養成講座を県内 2 か所で実施。2 月 14 日現在のサポーター登録者は県内全体で 921 人になりました。サポーター登録が 0 人の鳩山町に 8 人を配置することができました。※別紙 5

- ② 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、株式会社ディー・エヌ・エーへの判決があり、当会の主張が概ね認められました。この判決は、日本経済新聞、読売新聞、週刊エコノミスト掲載のほか、多数の新聞社やデジタル配信、SNS への投稿もあり、大きな反響がありました。

適格消費者団体の書面による差止請求 0 件(累計 3 件)、申入れ 0 件(5 件)、お問合せ対応は 0 件(9 件)、検討中 15 件でした。被害回復の取り組みは、申入れ 0 件(1 件)、お問合せ 1 件(3 件)、検討中 4 件でした。

差止請求 訴訟	ディー・エヌ・エー	2020 年 2 月 5 日(水) 判決が言い渡され、当 会の主張が概ね認められました※別紙 6
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41 条書面)→訴訟

#### < (株) ディー・エヌ・エー訴訟の勝訴内容(超要約) >

モバゲー会員規約 7 条 3 項の「当社の措置によりモバゲー会員に損害が生じても、当社は一切損害を賠償しません」、同 12 条 4 項「本規約において当社の責任について規約していない場合で、当社の責めに帰すべき事由によりモバゲー会員に損害が生じた場合、当社は、1 万円を上限として賠償します」との条文について、文言の内容が著しく明確性を欠き、複数解釈可能性が認められること、不明確な条項のまま、自己に有利な解釈に依拠していることが伺われるため、消契法第 8 条 1 項および 3 項前段の該当性、同報 2 条 3 項に該当すると認められた。

また、事業者が、差止め請求の対象となる条項の文言を限定的に解釈することによって、「不当条項に該当しない」と主張する場合の明確な判断基準を示した。

消費者契約法第 8 条 次に掲げる消費者契約の条項は、無効とする。

- 一 事業者の債務不履行により消費者に生じた損害を賠償する責任の全部を免除し、又は当該事業者によるその責任の有無を決定する権限を付与する条項
- 三 消費者契約における事業者の債務の履行に際してされた当該事業者の不法行為により消費者に生じた損害を賠償する責任の全部を免除し、又は当該事業者によるその責任の有無を決定する権限を付与する条項

## (2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 2 月 5 日(水)、平和・市民 5 団体懇談会が開催され、埼玉県生協連から 2 人が参加しました。今年度の原爆死没者慰霊式の概要や進め方についての話し合いを行いました。慰霊式実行委員会を立ち上げることを確認し、4 月実行委員会開始に向けて準備を進めることを確認しました。
- ② 2 月 5 日(水)、第 14 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会が開催され、埼玉県生協連から 3 人が参加しました。埼玉県内市町村長への署名呼びかけの到達確認を行った後、各団体からの活動報告を行いました。NPT 再検討会議派遣と連動した取り組みや、ローマ教皇の訪日をきっかけに、宗教者へ署名を呼びかける取り組みなどが報告されました。次回は 4 月 15 日(水)15 時から開催することを確認しました。

## (3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報 2 月号を発行、埼玉県生協連メールマガジン「Information」の準備をすすめました。
- ② 埼玉新聞生協特集(3 月 25 日掲載予定)の準備を進めました。
- ③ ホームページのスマホ対応について改修を進めています。過去情報についても、2019 年 1 月からの情報をスマホ対応で閲覧できるようになります(改修後)。

## 3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

### (1) 行政

- ① 埼玉県からの助成事業や委託事業についての報告書作成準備を行いました。

## (2) 埼玉消団連

- ① 2月18日(火)、埼玉消団連幹事会を開催しました。第56回埼玉県消費者大会全体会記念講演講師について話し合い、県内消費者団体地区別研修会をふりかえりました。
- ② 令和2年度食品衛生監視指導計画(案)について、埼玉県に続きさいたま市、越谷市、川越市、川口市への意見を提出しました。

## (3) 諸団体

- ① 2月27日(金)、JA女性組織協議会との早春交流会のふりかえりと協同組合連携に関わる打合せをJA埼玉県中央会の担当者で行いました。打合せの中では、早春交流会を受けての地域での連携や、次年度の実施概要について意見交換を行いました。なお、協同組合間連携に関する学習会は6月～7月を目安に再度調整を行うことになりました。
- ② 2月8日(土)に開催されたWith You さいたまフェスティバルでの埼玉婦人問題会議ワークショップ「女性県議との懇談」の開催に協力、参加しました。
- ③ 2月17日(月)、フードパントリーネットワーク会議にフードバンク埼玉として参加し、フードバンク側からフードパントリーに食品を提供する際の考え方などについて説明しました。

## 4. 今後の課題

- ・ 残り2会派との県議会会派懇談を行い、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。
- ・ 第5回理事会での議決を受けて、第49回通常総会での役員補充選任に向けた手続きを進めます。
- ・ 第49回通常総会に向けて、会員生協の様々な活動の数値や状況把握を把握します。
- ・ 4月からの活動委員会を会員生協施設で実施するための準備を進めるとともに、より活動交流ができるように運営を工夫していきます。
- ・ 埼玉県生協連ホームページの会員ページ本番アップに向けて作業を進めます。またスマホ対応を進めます。
- ・ 埼玉新聞生協特集(3月25日掲載予定)のテーマはSDGsとして「地域社会づくり」の取り組みに特化して各生協から事例を寄せていただき、紙面を構成する準備を進めています。各生協からの取り組み事例提出期限を3月6日(金)までに延長していますので、ご協力をお願いします。
- ・ 当面のすすめ方を検討したうえで、第56回埼玉県消費者大会実行委員会への参加よびかけを行います。なお、3月27日(金)でご案内していた第1回実行委員会については、日程を延期して4月からを予定します。

### 【新型コロナウイルスによる取り組みの中止・延期は次のとおりです】

	名称・会場・定員	開催日	対応
1	第2回組合員学習会 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」	2月28日(金) 10時～11時50分	中止
2	消費者被害防止サポーター全体会・交流会	2月28日(金) 10時～14時00分	中止
3	消費者力アップ学習会 Vol.3 「高齢者施設の選び方」	3月2日(月) 10時～12時	中止
4	関東農政局と消費者団体との意見交換会	3月18日(水) 13時30分～16時	延期 (時期は未定)
5	第56回埼玉県消費者大会 第1回実行委員会	3月27日(金) 13時30分～15時30分	中止 次回は 4月23日(木)予定

## 埼玉県生協連 2019 年度第 4 回活動委員会報告

日時	2020 年 2 月 14 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連 会議室
出欠	大久保（委員長）、境・本多（コープみらい）、佐藤・石川（パルシステム埼玉）、 <u>下川・中村（生活クラブ）、高橋・牛渡[代理・村崎]（医療生協さいたま）、塩崎（労済生協）、荒井（東都生協）</u> 埼玉県生協連：吉川会長理事、事務局＝加藤・清水桂・清水勤 オブザーバー：大田（日本生協連中央地連） 下線欠席／敬称略

### ■議題

#### I. 話したいこと

1. 2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画（活動委員会版）について話し合いを行いました。事業活動計画に関連して、健康づくりや子ども向けの地域交流スペースなどについて意見交換がありました。
2. 2020 年度の活動委員会会場を各生協持ち回りにすることについて提案し、次回の活動委員会から実施することを確認しました。
3. 各生協の 2020 年度活動計画の重点について出し合うワークを行いました。出された付箋をホワイトボードに貼り付け、意見交換を行いました（※別紙）。
4. 埼玉県生協連学習会・交流会等日程およびテーマ（案）一覧、2020 年度年間日程（活動委員会版）を確認しました。
5. 1-2 月活動報告書をもとに各委員から報告し、交流を行いました。

#### II. 日本生協連からの報告（中央地連）

大田さんから、日本生協連、中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

#### III. 確認したいこと

1. 確認したいこととして、次のことを報告しました。  
関東農政局との懇談について、埼玉新聞「生協特集」（2020 年 3 月予定）企画案、第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会ご案内、2/28 第 2 回組合員学習会ご案内、埼玉県生協連メルマガ「Information」（仮称）について、埼玉県生協連ホームページリニューアルについて（12/26 実施）、消費者アップ学習会 Vol. 3「高齢者施設の選び方」ご案内

#### IV. 報告したいこと

1. 業務報告として、埼玉県生協連 12・1 月度のまとめと今後の課題を報告しました。
2. 個別報告として、次の項目を報告しました。  
消費者被害防止サポーターの活動と市町村消費生活センターとの連携、埼玉県令和元年度上半期の消費生活相談の概況、組合員活動交流会報告（12/12）、助け合い活動交流会報告（1/17）、JA 女性組織協議会との早春交流会報告（2/12）、第 10 回九都県市合同防災訓練・図上訓練参加報告、県内消費者団体地区別研修会報告、ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告（2/5）、埼玉県議会会派との懇談報告、2020 年度埼玉県食品衛生監視指導計画（案）に対する意見、平和のための埼玉の戦争展でノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会親子企画について、埼玉県食品安全局との懇談報告（1/30）

#### V. 報告したいこと②文書報告

1. 文書報告として次の報告を行いました。  
埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会報告（12/12）、埼玉県生協連 2019 年度第 4 回理事会報告（1/16）、2020（令和 2）年埼玉県生協連新春賀詞交換会報告（1/16）、活動日誌と予定

最後に、次回の活動委員会日程を確認して終了しました。次回の第 5 回活動委員会は、4 月 16 日（木）13 時 30 分からコープみらいの施設で行います。

## 2019 年度第 2 回大学部会報告

日 時：2020 年 2 月 17 日（月）17 時 30 分～19 時 00 分

会 場：跡見学園女子大学生協

出 席：埼玉大学生協河本専務、大東文化学園生協山田専務、跡見学園女子大学生協石橋専務、十文字学園生協川田専務、吉川、大久保、加藤(埼玉県生協連)

## ■議 題

1. 次の項目について埼玉県生協連から報告をおこないました。

(1) 2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画(2 月活動委員会版)

(2) 各大学生協の 2020 年事業計画と 2020 年度活動計画について

(3) 第 49 回通常総会関連

(4) 会員生協間の連携活動について

① 若年層を対象とする消費者被害防止の取り組みやプラスチック問題を中心とする環境の取り組み。

② 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式や埼玉県生協連が行うピースフォーラム(NPT 再検討会議報告会、被爆体験の継承)など、平和の取り組み。

(5) 埼玉県生協連からのご案内

① 埼玉新聞「生協特集」(2020 年 3 月出稿)企画について

② 写真ニュース 2020 年春号への執筆および写真提供の依頼

③ 埼玉県生協連メールマガジン「Information」(仮称)について

④ 埼玉県生協連ホームページ改修と会員専用ページの運用について

2. 次のテーマで懇談を行いました。懇談内容の抜粋は以下の通りです。

(1) 各大学生協の経営概況などについて

各大学生協とも厳しい状況です。2 月末が年度末となりますが、見通しも結果も厳しいです。次年度に向けては、新入生へのアプローチが重要になります。最近は動きが早まっており、2 月・3 月でどのような動きを作るかが鍵になります。

(2) 大学生協の共済について

学生共済とコープ共済連との関係については、定款改定の進め方や必要な手続きについて、2/21 に埼玉県へ相談に行く予定です。相談の結果を受けて準備を進めていきます。

(3) 学生委員会について

学生委員会でも消費者被害や環境について取り組みを行っています。次回の近隣大学学生委員の集まりでは、環境について学習する予定です。また、大学生協全体の学生委員の会議では、社会的課題ミーティングを 4 回行っており、ミーティングの内容が各大学に持ち帰られます。

(4) レジ袋の有料化について

レジ袋有料化に関しては、各大学の判断となっています。すでに導入している大学では、有料であればレジ袋は利用しないと考える学生が多いと報告があり、導入しても大きな影響はでないと思っています。

3. 各生協の総代会日程について確認しました。日程は以下の通りです。

埼玉大学生協 5/25、大東文化学園生協 5/21、跡見学園女子大学生協 5/27、淑徳大学みずほ台生協 5/22、十文字学園生協 5/22

4. 大学部会次回日程については、2020 年 5 月開催で調整を行うことを確認しました。

## 第 25 回 JA 埼玉県女性組織協議会との早春交流会報告

2020 年 2 月 14 日 埼玉県生活協同組合連合会

## 1. 報告の趣旨

- (1) JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の交流会は、男女共同参画の推進、協同組合間交流、地域でのつながりを強め、豊かな地域社会づくりのきっかけとすることを目的に、1996 年から実施され、今年で 25 回目を迎えました。
- (2) 昨年の早春交流会で防災ブレスレット作りをしたことを受けて、今年は地域での防災・減災について考えることをテーマに学習しました。地域に暮らす多様な人の「違い」に配慮した体制や支援を考える際、女性の視点が大切で、自分たちが担っていかなくてはとの声が出されました。

## 2. 報告の概要

- (1) 日時 2020 年 2 月 12 日（水）10 時 30 分～14 時  
会場 こくみん共済 coop 埼玉推進本部会議室（さいたま市中央区）  
参加 JA 女性組織協議会 23 人（JA 埼玉中央 5 人、JA さいたま 10 人、JA いるま野 5 人、事務局 4 人）、埼玉県生協連 23 人（コープみらい 9・パルシステム埼玉 7・医療生協さいたま 2・生協連 2・事務局 3）合計 46 人  
講師 NPO 法人男女共同参画おおた理事長 坂田静香さん
- (2) はじめに、県連常務理事の大久保美紀さん、JA 女性組織協議会会長の栗嶋美津江さんよりあいさつがありました。
- (3) 次に講師の坂田静香さんに防災セミナー「地域力を高めて安心・安全な避難所運営 ～高齢者・障がい者・こども・女性など多様な視点に配慮する～」で、グループワークも交えながらお話いただきました。
- (4) 昼食時には防災セミナーを振り返りながら交流しました。その後 JA と生協連から活動報告を行い、グループごとに活動交流を行いました。



## 3. 参加者の感想

- どんな場においても男女どちらの意見も必要だということを感じました。
- 自治体で役員になったので、女性目線の避難時に必要なことを共有したいです。
- 市で防災リーダーをしています、他地域での事例がとても参考になりました。
- 避難所運営の視点での講演が新鮮でした。
- 地域の防災交流会に参加して、炊き出しは女性、すべてを男性が仕切っていることを目の当たりにしました。自分が何とかしなければと思いました。
- JA 女性協の方に講師としてきていただいて、みそ作り・赤飯づくりなど教えてもらいたい。つながれたらうれしいです。

## 4. 今後に向けて

今回の振り返りを踏まえて、2020 年度の日程や交流テーマなどについて検討を進めます。





## 2019 年度埼玉県と県生協連との第 2 回定期協議報告

2020 年 2 月 20 日 埼玉県生協連

日 時：2020 年 2 月 20 日(木)16 時 00 分～17 時 00 分 埼玉県生協連・会議室

出 席：関口修宏(消費生活課課長)、島村英雄(消費生活課主査)

吉川尚彦(埼玉県生協連会長理事)、大久保美紀(埼玉県生協連常務理事)

大山克己(埼玉県生協連常務理事)加藤(事務局長)〔敬称略〕

## 1. あいさつ

関口課長：日頃からの協力に感謝します。今後、次期埼玉県消費生活基本計画の策定に取り組むことになります。ご意見を伺いながら進めたいと思います。引き続きご協力をお願いします。

吉川会長理事：日頃から生協、適格消費者団体、消団連へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。会員生協では新型コロナウイルスに関する対応が始まっています。埼玉県生協連でも、今後いくつかの取り組みがありますが、一律に中止をせずに、都度判断をしながら進めます。埼玉県とも情報を共有しながら進めていきたいと思っています。



## 2. 議題

- (1) 関口課長から埼玉県生協連の 2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望(21 項目)への回答がありました。オリンピック・パラリンピック開催時の交通規制については、開催市町村が中心で県の担当課でも把握できていない状況、情報が入手できればお知らせするとのことでした。
- (2) 埼玉県より、2019 年度生協検査の実施報告がありました。今年度は 6 生協で実施予定であり、5 生協が終了し年度末までに残りの 1 生協の生協検査を実施することでした。報告のあった今年度の指摘項目は次のとおりです。また、生協検査ではないが、県民から配送トラックの運転手がシートベルトをしていないとの指摘が寄せられているとの発言があった。
  - ① 総会後の登記変更手続きが期間内に実施されていなかった。
  - ② 理事の変更に関する手続きが行われていなかった。
  - ③ 共済利用のみの組合員が、そのまま残っている。管理できていない。
  - ④ 選任されてから一度も理事会に出席しない理事がいた。
  - ⑤ 交通費に関する決まりがない、交通費会計上の不備がある。
  - ⑥ 役員選考委員会の議事録の不備に関する指摘。
  - ⑦ 規定内容にそった運用がされていないことへの指摘。
- (3) 懇談の中では、災害対策に関すること、消費者被害を始め地域での見守りの進め方、若年層の消費者被害を防止するための消費者教育の進め方などについて意見交換を行いました。

以上

**1.消費者被害防止サポーター活動推進事業(サポーター登録累計918人)****(1)消費者被害防止サポーター養成講座**

2019年度サポーター養成講座は、2月10日に小川町、14日に鳩山町で開催し、2会場で61人がサポーターに登録されました。これで計画12回のうち11回が終了し、サポーターは918人になりこれまでサポーターが配置されていなかった鳩山町には8人のサポーターを配置することができました。

また、3月5日に小鹿野町で民生委員を対象に養成講座を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、小鹿野町と協議し中止を判断しました。

**(2)市町村とサポーターとの連携**

サポーター活動推進事業は、サポーターを県内63市町村すべてに配置すること、市町村とサポーターとの連携した取り組みを2018年度の20から30市町村に拡大することを目標に推進してきました。サポーターの配置は、小鹿野町での養成講座が中止となりましたが60市町村に配置することができました。

また市町村とサポーターとの連携は、現在までに33市・町に広がり、連携した啓発活動や啓発グッズの提供、懇談会の開催などが行われています。

**(3) 第2回全体研修・全体交流会**

2月28日に開催を予定していた2019年度第2回サポーター全体研修、全体交流会は、サポーターや市・町の消費行政担当者から会場の定員114人を超える申し込みをいただきましたが、新型コロナウイルスの拡大を踏まえ、埼玉県と協議し、参加者の健康と安全を最優先することとし、中止を判断しました。

申し込みをいただい方や方には、電話、メール、FAX、ホームページでお知らせし、受信確認ができなかった3人に、郵送でお知らせしました。

また、この全体研修で予定していた「自分は大丈夫」の危険を知ろう！と題した「多田文明 氏」の講演は、2020年度の中で再度企画することを検討します。

**2.高齢者等見守り促進事業(訪問計画県内63市町村／2月27日までに32市・21町・1村を訪問)**

2月3日桶川市、5日吉見町、北本市、7日川越市、18日和光市、新座市、20日皆野町、小鹿野町を訪問し、消費者被害サポーターの養成や連携、消費者安全確保協議会についての状況把握と提案を行いました。3月までに県内すべての市町村を訪問し懇談できるように、訪問日程の調整を進めます。

**3.インターネット適正広告推進事業****(1)啓発事業および監視事業**

インターネット適正広告推進事業は、今年度最終となる2月分の広告監視として「健康補助食品」「美容商品」「痩身」「丰胸」「衛生用品」「老人ホーム」をテーマとして1,003件を検索・点検しました。この中から、不当表示と思われる40件の表示内容について担当弁護士の精査を経て、3月4日に埼玉県へ報告する予定です。

**4.今後の課題**

- ①3月度市町村訪問の推進
- ②2019年度のまとめ、2020年度事業計画・予算の確定
- ③サポーターニュースの発行
- ④インターネット事業の年間のまとめとニュースレター発行
- ⑤HPの更新



← 埼玉新聞 2月6日朝刊

## 規約一部差し止め

### モバゲー利用で地裁判決

IT大手ディー・エヌ・エー（DeNA）が運営するゲームサイト「モバゲー」の利用規約が違法だとして、県内の弁護士らでつくるNPO法の弁護士が、同会が使用差し止めを求めた規約のうち、一つについて差止請求を認めた。判決理由で谷口裁判長は、会社側の措置で会員に損害が生じても一切、損害を賠償しないとする規約について「著しく明確性を欠き、自己に有利な解釈で運用をしていることがうかがわれる」と指摘。

免責条項としての機能を認め、消費者契約法が無効と規定する条項に当たるとした。同会は2016年から数回、同社に条項の変更などを申し入れていたが、改善されなかったため、18年7月に提訴していた。

判決を受け同会は「適格消費者団体の差止請求における不当条項該当性の判断基準を明確に示した全国初の判決。同様の規定を持つ事業者が自主的に条項を修正することが望まれる」とコメントした。

日本経済新聞 2月6日朝刊→

## モバゲー規約一部差し止め

さいたま地裁判決

「会員に損害出ても、一切賠償しない」

IT大手、ディー・エヌ・エー（DeNA）運営

営のゲームサイト「Mobaage（モバゲー）」の利用規約の一部が違法だとして、埼玉県の弁護士らで構成するNPO法人が使用の差し止めを求めた訴訟で、さいたま地裁は5日、DeNA側が有利になる不当な免責条項があると、該当条項の差し止めを認める判決を言い渡した。

訴状によると、利用規約には「当社の措置によ

りモバゲー会員に損害が生じても、当社は一切損害を賠償しません」との条項があり、原告側は、事業者の不当な免責を禁じる消費者契約法に違反すると主張。実際に「課金後に利用停止になったが対応してもらえない」といった苦情が国民生活センターに寄せられていると指摘していた。

谷口豊裁判長は判決理由で、この条項が不明確で複数の解釈の余地があり、DeNA側が「自己に有利な解釈に依拠して運用している疑いを払拭できない」とし、差し止めが相当と判断した。

原告代理人の長田淳弁護士は「事業者側に広い裁量を認めた条項を使用しているケースは他にも数多く、今回の判決を受けて自主的に修正してほしい」と話した。

DeNAは「判決を見ていないのでコメントはできない」としてい

## 2019 年度 埼玉県生協連 2 月度の活動日誌

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
2/3	中央地連 MCA 無線訓練(清水勤・相原) 埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会との協議会(吉川・清水勤・田中)
2/4	院内集会「実現させよう！公益通報者保護法の実効的改正」(吉川・清水桂)
2/5	平和・市民 5 団体懇談会(吉川・加藤) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(吉川・大久保・加藤) CSF(豚コレラ)学習会(清水桂) 埼玉母親大会常任委員会(清水桂) 埼玉消費者被害をなくす会 DeNA 訴訟判決(吉川・清水勤・田中) 埼玉県 LP ガスお客様相談センター委員会(田中)
2/6	パルシステム生活協同組合連合会熊谷センター開所式(吉川) 埼玉消費者被害をなくす会第 8 回活動委員会(清水勤・田中) 埼玉県電機商業組合埼玉県消費者懇談会
2/7	県内消費者団体地区別研修会上尾会場(吉川・大久保・清水桂・清水勤) 毎日政経文化セミナー(吉川・大久保・加藤) 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会(清水勤)
2/8	第 18 回 With You さいたまフェスティバル(大久保・清水桂)
2/10	県内消費者団体地区別研修会川越会場(大久保・清水桂・加藤) 消費者被害防止サポーター養成講座小川会場(青木)
2/12	JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生活協同組合連合会との第 25 回早春交流会 (吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤)
2/13	日本生協連中央地連第 2 回大規模災害対策協議会全体会議(加藤) 「輸入食品って安全なの??」学習・意見交換会(清水桂)
2/14	第 4 回活動委員会(吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤) 消費者被害防止サポーター養成講座鳩山会場(青木)
2/15	彩の国埼玉環境大賞表彰式(吉川) 第 2 回大学部会(吉川・大久保・加藤) フードパントリーネットワーク会議(清水桂)
2/18	埼玉県消費者団体連絡会幹事会(吉川・大久保・清水桂) こども食堂フォーラム(大久保・清水桂) 消費者委員会懇談会(吉川・清水勤・田中)
2/20	埼玉県と埼玉県生活協同組合連合会との第 2 回定期協議(吉川・大久保・大山・加藤) 埼玉エコ・リサイクル連絡会運営委員会(清水桂)
2/21	全国消費者大会第 4 回実行委員会(大久保・清水桂) 「預託商法の法整備について」学習会(大久保・清水桂) 全国消費者団体連絡会理事会(吉川)
2/22	エコ・リサイクル交流集会 2020(吉川・清水桂)
2/26	埼玉消費者被害をなくす会 2 月検討委員会(吉川・清水勤・田中)
2/27	第 4 回常務理事会(吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤)

## 2019 年度 埼玉県生協連 3 月度の活動予定

3/2	埼玉母親大会常任委員会
3/4	第 5 回監事会
3/6	フードバンク埼玉第 4 回理事会
3/12	第 5 回理事会
3/13	全国消費者大会第 5 回実行委員会
3/18	埼玉県消費者団体連絡会連幹事会
3/19	平和・市民 5 団体懇談会
3/24	埼玉消費者被害をなくす会第 4 回理事会・3 月検討委員会
3/25	埼玉県ユニセフ協会第 18 回理事会・第 17 回評議員会 埼玉消費者被害をなくす会講座等支援チーム会
3/26	中央地連第 5 回運営委員会